



募集しています

優秀な環境装置を

第50回

優秀環境装置表彰

賞の種類(予定)

経済産業大臣賞

産業技術環境局長賞 中小企業庁長官賞

日本産業機械工業会会長賞

応募締切 2024年7月12日(金)

◆応募方法◆ ※詳細はウェブサイトをご覧ください

URL <https://www.jsim.or.jp/commendation/boshu.php>

日本産業機械工業会

検索



お問合せ先(事務局)

一般社団法人 日本産業機械工業会 環境装置部(担当:塚原・大川内)

〒105-0011 東京都港区芝公園三丁目5番8号 TEL:03-3434-6820

主催 一般社団法人 日本産業機械工業会 後援 経済産業省
一般社団法人 日本産業機械工業会 環境装置部(TEL: 03-3434-6820)

「第50回優秀環境装置表彰」募集のご案内

「優秀環境装置表彰事業」は、環境保全技術の研究・開発、並びに優秀な環境装置(システム)の普及促進を図ることを目的として実施しています。

表彰の対象

地球環境保全に資する以下の環境装置(これらに関する技術を含み、移動発生源に係るもの及び家庭用並びに環境測定機器類を除く(以下同じ))であって、販売開始後10年以内、かつ装置・システムの性能が十分に評価できる規模及び運転期間を有するものであること。

- ① 大気汚染防止装置
- ② 水質汚濁防止装置
- ③ 廃棄物処理装置
- ④ 騒音・振動防止装置
- ⑤ 土壌・地下水汚染修復装置
- ⑥ 再資源化装置
- ⑦ 温室効果ガス分離・回収・処理装置
- ⑧ 上記①から⑦の技術に付属したエネルギー・資源利活用装置
- ⑨ 化石資源の代替品製造装置
- ⑩ その他環境負荷低減に資する装置※

※環境配慮型の装置(システム)(例:省エネ型エアコン、省エネ型蛍光灯、電気自動車等)は「その他環境負荷低減に資する装置」には該当しません。

賞の種類(予定)

- 経済産業大臣賞
- 経済産業省 産業技術環境局長賞
- 中小企業庁長官賞
- 一般社団法人日本産業機械工業会会長賞

※上記4賞に加え、経済産業大臣賞、産業技術環境局長賞、中小企業庁長官賞を受賞した装置の研究・開発に携わった主たる開発者についても、一般社団法人日本産業機械工業会会長より表彰します。

応募申請

- (1) 応募申請者は、上記の環境装置を開発・製造する者、企業またはその他の団体とします。
- (2) 2者以上で共同して開発を行った場合は、共同で応募申請することができます。
- (3) 過去に応募申請した装置については、著しい改良を加えた場合に限り、応募申請することができます。

応募方法

まずは、事前登録をお願いします。

- (1) 事前登録
「事前登録書」に必要事項をご記入のうえ、**2024年6月21日(金)まで**に、事務局宛てご提出ください。
(「事前登録書」はウェブサイトよりダウンロードできます)
- (2) 応募申請
上記(1)の「登録書」を受付け後、事務局より「登録済み」のご連絡をいたしますので、応募申請に必要な書類一式を事務局までご提出ください。

詳細な募集案内はウェブサイトにてご確認ください。

URL <https://www.jsim.or.jp/commendation/boshu.php>



応募締切

**2024年
7月12日(金) ※必着**

スケジュール(予定)

2024年	6月21日	事前登録締切
	7月12日	応募申請締切
	7月～	書面評価
	10月～11月	実地調査※1
2025年	1月	審査
	3月	表彰式※2

※1「実地調査」は、原則、申請装置が設置された施設において、応募申請者及び装置のユーザの出席のもと、申請内容等の調査をするため実施します。なお、実地調査は全応募装置に対して実施されるものではありません。

※2表彰装置(審査結果)は「表彰式」にて公表します。なお、本表彰事業及び表彰装置(技術)を広く周知するため、当工業会ウェブサイトや機関誌に関連記事を掲載します。また、業界紙等への記事掲載を依頼するに当たり、応募申請ご担当者情報(ご氏名・ご所属・ご連絡先)を報道機関へ提供することについて、予めご理解、ご了承くださいませようお願いいたします。ただし、報道機関への情報開示が不都合な場合は、ご連絡ください。

評価の指標

以下の4つの指標について総合的に評価を行います。

いずれも類似装置や従来装置(申請装置と同じ方式※)との比較における評価を行います。

※ 同じ方式が無い場合は、従来主流であった方式との比較による。

(1) 独創性

- ・ 従来装置や類似装置には無い新規の技術、機能を有する
- ・ 新たな発想やコンセプトによる開発が行われている
- ・ 他者からの技術導入等に基づく場合は、独創的な改善・改良が加えられている

(2) 性能

- ・ 従来装置や類似装置と比較して具体的、定量的に能力の向上が認められる
- ・ 耐久性・安全性、運転・操作性に優れ、維持管理が容易である
- ・ 他の環境因子等への相乗効果が期待される

(3) 経済性

- ・ イニシャルコスト、ランニングコスト等の総合的かつ長期的な経済性に優れている
- ・ 特に、省エネルギー、省資源、省スペース、省人化等の効果を有する
- ・ また、売電収益、有価物売却益等が見込まれる

(4) 将来性

- ・ 申請装置に関する現在の市場規模と今後の市場動向から将来普及が見込まれる
- ・ 従来装置や類似装置との代替、他分野や海外への適用等により、地球環境保全への寄与が期待される

第49回優秀環境装置表彰事業の結果概要

第49回優秀環境装置表彰事業では、応募のあった9件の環境装置について厳正なる審査の結果、7件の環境装置が表彰されました。

(表彰式: 2023年7月28日、於 機械振興会館)



賞の種類	受賞装置名	受賞者名
経済産業大臣賞	脱水乾燥システム	月島アクアソリューション株式会社 日本下水道事業団
経済産業省 産業技術環境局長賞	下水汚泥固形燃料化システム(ジェイコンビスシステム)	日鉄エンジニアリング株式会社
中小企業庁長官賞	ヒータ式排ガス処理装置	クリーン・テクノロジー株式会社
日本産業機械工業会 会長賞 (4件) (応募申請書受付順)	フレキシブル排水処理設備(ハイドロヴァンガード)	株式会社水循環エンジニアリング
	省電力送風装置(流動タービン)を用いた下水汚泥焼却設備	愛知県 日本下水道事業団 メタウォーター株式会社 株式会社クボタ
	タール燃料を利用した排ガス処理装置	日工株式会社 三機工業株式会社
	排水処理システム(AIS: アイエンス・イノベティヴ・システム)	株式会社アイエンス

※: 共同申請

(計 7件)

また、経済産業大臣賞、経済産業省産業技術環境局長賞、中小企業庁長官賞を受賞した装置の研究・開発に携った主たる開発者について、計17名を日本産業機械工業会会長が表彰しました。